

## 仏壇用過去帖のお話し

以前からよく質問があり、一度この紙面で書きたいなあと思っていた、「仏壇用過去帖」について今回は書かせていただくかと思えます。

まずこの「仏壇用過去帖」という文字を見て、全くなんのことかわからないお家の方もおられると思います。それもそのはず、お仏壇の中に下写真のような「過去帖」が存在しないお家もたくさんあるからです。その理由は簡単で、当寺院の宗派(宗旨)である『時宗(じしゅう)』においては、この「仏壇用過去帖」を仏壇内に必ず用意しなければならないものではないからです。かと言って、置いてはいけないものでもありません。つまりは決まりがない、ということです。ですからこの「過去帖」が無いお家は今回のこの不動心の表側は全く関係ない話題となります。



さてこの「過去帖」、お家によっては明治以前からのご先祖様が連綿と書き連ねてあるところもあります。しかしさすがにそういう場合は年季の入ったものが多く、恐る恐るページをめくらないといけません。通常仏壇用過去帖は仏壇の中でお祀りして毎日日ごとにめくっていくものですから、10年もすると劣化が激しくなり、交換が必要となってきます。ですから古いものは、たいがい仏壇の中と言うよりも引き出しの中に大切にしまっています。

ただそのような古い過去帖の書き写しをお寺にお願いされても、その全てを写すわけにもいきません。だいたいどんな場合でも、書き写しは二代前までの直系のご先祖様だけになります。というのも本来ご先祖様の系譜の管理は、『巻物などに系譜図として残し、普段は人の目に触れない場所に大切に保管する』もので、過去帖のような常に目に触れる上に毎日「日めくる」ようなもので保存はしません。

昨今は巻物や書物形式でご先祖様の系譜図を作成してくれる業者がインターネットなどでたくさん見つかりますので、是非一度ご検討されてはいかがでしょうか。特に近年は核家族化が進んだ影響で二代前のご先祖様やご親戚の方でも分からなくなりつつあり、そう言う私もそろそろ従兄弟(いとこ)くらいになってくると、町で出会っても気づかないくらい疎遠になっています。

仏壇の引き出しの中に保管してある「過去帖」や、以前に系譜を調べたけれどもメモ書き程度のところで調査が止まっているというお家の皆さん、

是非、一度ご検討されてみてはいかがでしょうか？



今年も暑い夏がやってきましたね。毎年夏がやって来ると、私がまだ20代半ばの一年間、ほぼ常夏であったオーストラリアのゴールドコーストに住んでいたことを思い出します。

思い返してみても、私の人生の中で一番何も考えず、ただ毎日を淡々と生活していた一年だったようにいつも感じます。でもそれは悲観的な意味ではなく、本当にとっても充実した日々でした。

今でも少し心が不安定になると、あのゴールドコーストの時の自分を思い返します。日本に住む人から見ると、多分、当時の私の姿はとても許容できるものではないと思いますが、このように今もなお私の心の拠り所になっています。

人間万事塞翁が馬。どこにいても、どんな状況であったとしても、自分自身が「これでいいのだ。」と思えれば、それで良いのです。

見えているものが全てではなく、それが世界の全てではありません。

日本だろうが、外国だろうが、今日は、

「これでいいのだ。」

## ☎二祖真教上人七百年御遠忌 平成31(2019)年

〔編集後記〕春のお彼岸期間中、そして今日も何人かのお参りの方に、「雨で家を出る時はおっくうでしたが、お墓に来てお経をあげてもらおうと、なんだか胸がスツとしました。若い時には、こういう気持ちにはなれなかったのですが…」とおっしゃっていただきました。実は最近、私も自分自身お経を読んでいて、『モヤモヤしていた心がスッキリする。』という感覚というか、気持ちというか、そういう状態が理解できるようになってきました。和尚が今更！と思われるかもしれませんが、まあ、何事も疑ってからとりかかる私の性格が悪いのかもしれませんが、でもこれで、やっと私も仏門の入り口に立てかのかな？ お盆のお参りの際も、宜しくお願い致します。 合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyoin.com/>



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげてください。